



## 【第325号 紙面案内】

第2面…常任理事会報告	第7面…山城賞および山城賞奨励賞募集
第3面…理事会報告・アドバイザリーボード役員一覧	第8面…各部会から
第4面…2021年度 年間行事表	第12面…機関誌予備審査導入のお知らせ
第5面…第84回全国研究大会参加記	第13面…機関誌原稿募集・会員書籍
第6面…第85回全国研究大会・自由論題報告募集	第14面…学会事務局より

## 会員相互の密な関係構築と情報伝達を心がけて…

総務委員長 當間 政義 (和光大学)

前号(会報：第324号)にて、学会長の松村洋平先生の巻頭言にありますように、学会の活性化および運営の効率化について、総務委員会では、これまで以上に会員相互の密な関係構築と情報伝達を心がけて積極的に取り組んでいく所存であります。

現在、総務委員会で取り組むべき課題は下記の通り3点あります。

1点目ですが、ホームページへの情報掲載についてです。本学会の活動として、全国研究大会をはじめ、地域部会、研究部会の動向を可能な限り迅速な掲載を心がけていきます。

2点目ですが、メールマガジンによる情報伝達についてです。メールマガジンは、2021年10月末日現在で115回の配信となっております。しかしながら、会員の中には、「未だメールマガジンが届いていない」との話もお聞きするかもしれません。このような話をお聞きした場合、是非ともメールアドレスの変更およびご登録につきまして、事務局<name@kae-yamashiro.co.jp>もしくは総務委員長の當間<m-toma@wako.ac.jp>宛てにご連絡をいただけますようよろしくお願いいたします。

3点目ですが、名簿の作成についてです。2017(平成29)年度以降、名簿が作成されておられません。2021(令和3)年度は、学会長のご指示の下で、総務委員会としてこれを更新する予定です。今回の名簿の作成については、これまでの会員名簿の個人会員の項目で、専攻分野を「研究分野・研究キーワード」に変更するとともに、住所・電話番号・メールアドレスは割愛することを検討しております。

今後は、学会関連先(リンク先を含め)である、日本学術会議、日本経済学会連合、経営関連学会協議会からの情報について、メールマガジン等で、会員のメンバーにお知らせしていきます。次年度以降になるかもしれませんが、総務委員会委員の意見を取りまとめ、ホームページの変更を検討しております。

今後とも、総務委員会からの情報発信について注目していただければ幸いです。

<b>常任理事会報告</b>
----------------

1. 日 時：2021年（令和3年）9月12日（日）18:00～19:20

2. 開催方式：オンライン開催

3. 議 題：

(1) 第84回全国研究大会について

10月2日（土）、3日（日）に敬愛大学（オンライン）で開催予定の第84回全国研究大会について、栗屋大会実行委員長より、大会の実施要領、通知方法等の確認が行われた。

(2) 第85回全国研究大会について

第85回全国研究大会の開催校についての検討が報告された。法政大学での開催方針が決定され、会場確保に関わり、法政大学中小企業研究所との共催が検討された。

(3) 会員名簿の作成について

総務委員より会員名簿の作成方針について説明がなされた。

(4) 会員の入退会について

入退会の結果、会員数592人、法人会員6社となったことが報告された。

(5) その他

- ・学会ホームページについて、総務委員より改修方針が報告された。
- ・今後の情報について、メールマガジンをより活用していくことが報告された。
- ・関東部会長より、11月13日（土）午後に開かれる関東部会について、報告者を募集していることが報告された。
- ・研究部会（経営革新研究部会）から、11月13日（土）の午後に開かれる関東部会に合わせ、午前で開催予定であることが報告された。若手研究者向けに、博士号取得者についての報告が検討された。
- ・国際委員会より、韓国経営教育学会への派遣者の決定が報告された。報告者のネイティブチェックの費用のサポートの検討が報告された。
- ・国際委員会より、3ヵ国以上が参加する国際学術シンポジウムの開催について検討された。今後詳細を詰め、理事会に諮ることが報告された。
- ・会報委員会より、会報325号を11月中旬に発行予定であることが報告された。また、コンテンツとして、従来の会員紹介については部会登壇者を中心に行うほか、会員書籍の紹介の充実化の検討が報告された。
- ・地方部会、研究部会の今後のスケジュールの連絡方法について検討された。
- ・機関誌委員会より、編集の効率化、査読前の機関誌委員による予備審査の導入やオペレーションについて検討された。
- ・英文年報の作成について報告された。

以 上

## 理事会報告

1. 日 時：2021年(令和3年)10月2日(土) 12:00～12:45
2. 開催形式：オンライン開催
3. 議 題：
  - (1) 第84回全国研究大会について  
敬愛大学(オンライン)にて開催中の第84回全国研究大会について、問題なく進行中であることが報告された。
  - (2) 第85回全国研究大会について  
開催予定校が法政大学であることの説明が行われ、理事会の承認が行われた。詳細については、10月3日の大会委員会で検討がなされることとなった。
  - (3) 名簿について  
総務委員長より、名簿の取り扱い、特に個人情報保護の観点について説明がなされ、理事会の承認が行われた。
  - (4) 国際学術シンポジウムの開催について  
国際委員会による3か国以上が参加する国際学術シンポジウムの開催の検討について、説明がなされた。運営方法、予算、招聘方法等は今後検討されることとなった。
  - (5) 会員の入退会の承認について  
入会者および、退会者について承認(会員数594人、法人会員6社)が行われた。学会長より、魅力ある学会のためにも会員の勧誘のお願いがなされた。
  - (6) その他(委員会・部会から)
    - ・会報委員会より、2021年度の年間行事の掲載等が説明された。
    - ・関東部会より、11月13日(土)の午後1時に開催予定であることが報告された。
    - ・機関紙委員会より、25巻1号の編集が進められていること、予備審査の導入等の改善点が報告された。
    - ・総務委員会より、学会ホームページの改修状況について説明がなされた。また、メールアドレスが変更された会員には、学会事務局へ連絡していただくようお願いがあった。

以 上

## 日本マネジメント学会アドバイザリーボード役員一覧

2021年10月25日現在  
※敬称略・五十音順

ボード役員	氏 名	社 名	役 職
会 長	村井 淳	株式会社 東急ホテルズ	代表取締役社長
副会長	高山 泰仁	株式会社 旅工房	代表取締役会長兼社長
副会長	永岡 英則	株式会社 VOYAGE VENTURES	取締役 CFO
幹事長	堀越 勝	株式会社 山城経営研究所	取締役 主幹研究員 プロデューサー
幹 事	今宮 大介	株式会社 mizunoya	代表取締役社長
幹 事	小松 智子	小松建設工事 株式会社	取締役
幹 事	堀内 美雅乃	大鵬薬品工業 株式会社	サプライチェーン部 SC 業務課 係長

## 日本マネジメント学会 2021年度 年間行事表

(2021年度 (2021年4月～2022年3月) 年間行事予定)

- |                       |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| (1) 第83回全国研究大会 (立正大学) | 2021年6月12～13日                    |
| 第84回全国研究大会 (敬愛大学)     | 2021年10月2～3日                     |
| (2) 機関誌原稿募集 締切        | 7月末日、1月末日                        |
| (3) 会報発行<br>(原稿 締切)   | 5月、8月、11月、2月下旬<br>(各発行前月20日)     |
| (4) 山城賞募集 締切          | 2022年1月7日必着                      |
| (5) 国際交流事業            |                                  |
| 全国大会国際セッション           | 2021年6月12日                       |
| 韓国経営教育学会参加者派遣         | 2021年11月6日                       |
| (6) 各地方部会 (開催) 日程     |                                  |
| 北海道・東北部会              | 2022年2月5日                        |
| 関東部会                  | 2021年7月24日、11月13日(午後)            |
| 中部部会                  | 2021年5月1日                        |
| 関西部会                  | 2021年7月3日、2021年12月11日、2022年2月20日 |
| 中国・九州部会               | 2021年11月27日                      |
| (7) 各研究部会 (開催) 日程     |                                  |
| マネジメント実践研究部会          | 現在調整中                            |
| 経営実践コンサルティング部会        | 2021年12月4日                       |
| 経営理念研究部会              | 2021年9月18日                       |
| 経営革新研究部会              | 2021年11月13日(午前)、2022年3月          |

以 上

しばらくの間、各地方部会・研究部会等のイベントには、可能な限り、学会会長・副会長が分担してお邪魔し、皆さまとの交流を図るよう努力いたします。よろしく願いいたします。(松村・小嶋・櫻澤)

以 上

## ◇◇第84回全国研究大会参加記◇◇

白 娜仁格日樂（広島経済大学大学院）

日本マネジメント学会第84回全国研究大会が、2021年10月2日(土)・3日(日)に敬愛大学を幹事校として開催された。今回のテーマは、「資本主義社会とマネジメンターサステナビリティの全体最適と個別最適」と掲げられ、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、今回もZOOMによるオンライン開催となった。

大会初日は、「企業・事業・制度のサステナビリティ」と題した統一論題セッション1から始まった。その第一報告は、阿部知和氏（公益財団法人自動車リサイクル促進センター専務理事）による「自動車リサイクルの現状と循環型社会を目指した取り組み」、第二報告は近藤高行氏（会宝産業株式会社 代表取締役社長）による「創業時からのSDGsによる経営」、第三報告は飯沼一喜氏（株式会社飯沼本家 専務取締役）による「SAKE文化創造企業への取り組み」である。各氏からは、サステナブルであるための自動車リサイクル制度設計のあり方、外部性のビジネス化、江戸時代に創業された事業の継承の観点から、最新の情報等を踏まえながら、示唆に富むご報告をいただいた。

午後には、當間政義氏（和光大学）による代表質問及び進行のもと、統一論題1の報告者によるパネルディスカッションが開催され、部分最適や全体最適を考慮しながら持続可能性を高める経営のあり方などについて、多様な観点から白熱した議論が展開された。

その後は、9名の会員による自由論題セッションが開催され、初日の最後には、亀川雅人先生（日本マネジメント学会前会長・文京学院大学副学長・立教大学名誉教授）による、「資本主義経済における株式会社の研究－株主資本主義とステークホルダー資本主義－」と題した特別講演が行われた。この中では、資本主義社会の捉え方やその中での企業経営に関する研究のあり方について、質疑応答を含め熱心な議論が交わされた。

大会二日目のスタートは、「経営学とサステナビリティ」と題した統一論題セッション2であった。第一報告は、平屋伸洋氏（明治大学）による「業績モメンタムとマネジメント」、第二報告は橋本倫明氏（東京都市大学）による「ダイナミック・ケイパビリティ経営とサステナビリティ」、第三報告は安田直樹氏（立教大学）による「企業行動理論 (behavioral theory of the firm) と企業の長期的存続」である。各氏からは、会計学・戦略論・組織論の観点からそれぞれ示唆に富むご報告をいただいた。

午後は、杉田博氏（石巻専修大学）による代表質問及び進行のもと、統一論題2の報告者によるパネルディスカッションが行われ、経営学全般を俯瞰的にみるなかで、企業は持続的な競争優位をいかに獲得できるのか？といった観点を中心に活発な議論が交わされた。

その後、山城賞を受賞された専修大学の小沢一郎氏より、「進化的イノベーションのダイナミクス－変革期を超越する組織能力マネジメンター」と題した受賞報告がなされ、続いて開催された6名の会員による自由論題セッションで大会は締められた。筆者(白)も自由論題報告にて発表し、諸先生方から大変有益なご指導を賜った。この場をお借りし、心より御礼申し上げたい。

最後に、今回の大会も非対面のオンライン開催となったものの、統一論題・自由論題ともに活発な議論が交わされ、経営学の根幹をなすサステナビリティについて、学会員として幅広く奥深い多くの学びを得ることとなり、大変有意義な全国研究大会となった。

2日間を通じ、本大会の運営にご尽力いただいた松村洋平会長はじめ、大会実行委員長の粟屋仁美先生ならびに敬愛大学（開催校）の先生方に厚く御礼申し上げます。

## ◇◇第 85 回全国研究大会・自由論題報告募集◇◇

2022(令和4)年6月(日程は未定)、法政大学において開催される第85回全国研究大会の自由論題報告を募集します。下記要領に従ってご応募下さい。

### 1. 応募資格

本学会の会員。但し、第84回全国研究大会・自由論題として報告された方の応募はご遠慮下さい。

### 2. テーマ

本学会の目的に沿う以下のもの。

- ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
- ・日本的経営および国際的経営の研究
- ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究

### 3. 応募書類

応募には応募用紙の記入が必要です。日本マネジメント学会ウェブサイトより応募フォーマットをダウンロードし、注意事項を読んで原稿を作成し、下記締め切り期日必着にて電子メールでお送りください。

### 4. 締切

2022(令和4)年1月31日(月) 必着

### 5. 応募先・問い合わせ先

- ・応募先：日本マネジメント学会事務局 name@kae-yamashiro.co.jp
- ・問い合わせ先：組織委員長 井上 善海 zenkai.inoue.68@hosei.ac.jp

開催日程や開催形式につきまして決まり次第、学会の会報やホームページ等にてお知らせいたします。

## ◇◇山城賞および山城賞奨励賞募集のご案内◇◇

2021(令和3)年度山城賞(本賞)と山城賞奨励賞を以下の要領で募集いたします。奮ってご応募ください。自薦または他薦をお待ちしております。

### 1. 選考対象

対象作品は、2020(令和2)年10月1日～2021(令和3)年9月30日までの1年間に発行されたもの。ただし、対象者は本学会会員であり、応募作品は本学会の研究活動に関連する領域のものとし、同一単行本および同一論文の連続応募は認められない。

### 2. 山城賞(本賞)の応募対象

単行本(日本語または英語に限る。共著も可であるが、2名までとし各人100頁以上の執筆分担が明確なものとする)

### 3. 山城賞奨励賞の応募資格

- (1) 対象作品：学術研究雑誌である日本マネジメント学会誌『経営教育研究』第24巻第1号・2号およびこれに準ずる本学会の刊行物に掲載された論文(日本語または英語に限る。共著不可)
- (2) 応募者の年齢：35歳以下(1985年10月1日以降に生まれたもの)

### 4. 応募方法

- ・自薦・他薦いずれも可。
- ・自薦の場合、当該作品3部および内容要旨(A4用紙で1,200字程度)と履歴書を事務局に提出する。
- ・他薦の場合、自薦の提出書類に加えて他薦の推薦書(A4用紙で以下の6項目を記載したもの)を事務局に提出する。
  - ①推薦者氏名
  - ②推薦者所属機関
  - ③推薦者の連絡先
  - ④著者名および書名(あるいは論文名)
  - ⑤出版社名(発行所名)
  - ⑥推薦理由・提出書類、作品については返却いたしません。

### 5. 山城賞(本賞)・山城賞奨励賞推薦基準

日本マネジメント学会会員の著書・論文で経営体の諸活動に関する実践的研究の発展に資するものであること。

- ①経営原理の歴史的展開または体系化、さらに経営環境の変化に伴う新しい経営原理の提

起に関するもの。

- ②経営原理の実践に関する技法の体系化、技法の新展開に関するもの（経営原理に基づいて開発された技法であること、開発された技法が新しい経営原理を導くものであること）。
- ③研究領域は事業体を問わない（いわゆる非営利事業体の全てをも含む）。また地域的特性（国際化、各国別特性－日本型経営など、各国別比較など）や経営体の機能別（財務、人事・労務、製造、マーケティングなど）、階層別（経営リーダーシップと管理リーダーシップ）分野を問わない。

## 6. 応募締切

2022(令和4)年1月7日(金) 必着

# ◇◇日本マネジメント学会第2回関西部会開催のお知らせ◇◇

関西部会長 田中 雅子（帝塚山大学）

新体制になって初めての関西部会を開催する運びとなりました。「関西部会は有益で、かつ楽しい」と思っていただけのような、地域を超えた活気ある部会を展開することが役員一同の願いです。

通常は研究報告者2名、産業界からのゲストスピーカー1名ですが、今回は「特別講演」を盛り込みました。オンライン開催ですので、多くの皆様にご参加いただけますと幸いです。よろしく願い申し上げます。

日 時： 2021年12月11日(土) 13:30～17:00

場 所： ZOOMでのオンライン開催

プログラム：

【開会挨拶】(13:30～13:35)

関西部会長 田中 雅子

【研究報告】(13:35～14:20) <研究報告35分、質疑応答15分>

- ・報告者：平岡 秀福 氏（創価大学）
- ・テーマ：「時間営業利益に関する研究－Before COVID-19の日本における業種別分析」
- ・概要：当報告では、COVID-19終息後に日本企業が向かうべき労働1時間当たり営業利益のベンチマーク水準としてCOVID-19前の企業別の数値を算定し、業種別平均や偏差、収益性指標や労働1時間当たり売上高との関係性を解明します。

－休憩（15分）



**【実務家バトン講座】(14:35～15:35) <講演 45分、質疑応答 15分>**

当講座では、ご登壇いただいたゲストスピーカーに、次のご登壇者をご紹介いただく形をとりながら進めていきます。人から人へと講座を繋いでいくことと、本年はオリンピック・パラリンピックが開催された年でもあることから、「バトン講座」と名づけました。

- ・ 講演者：尾中 友哉 氏 (株式会社サイレントボイス 代表取締役社長)
- ・ 演 題：「聞こえない人・聞こえる人の接点をより良くしたい」
- ・ 概 要：聴覚障碍者のご両親を持つ耳の聞こえる子供として、手話を第一言語に育たれた尾中氏。その環境からの気づきや不都合さが問題意識となり、ろう者と聴者が助け合える社会を目指し、(株)サイレントボイスを起業。「DEAFと社会の関係性を変える」ビジネスを展開されています。

－休憩 (15分)

**【特別講演】(15:50～17:00) <講演 50分、質疑応答 20分>**

- ・ 講演者：大平 浩二 氏 (明治学院大学名誉教授、新潟産業大学特任教授)
- ・ 演 題：「見えないモノを見る」
- ・ 概 要：私たちの思考は、意識・無意識に実証(主義)の影響を強く受けています。「仮説－検証」や「数値」でもって世の中を見ていこうとするものです。しかし、こうした傾向の行き過ぎは、時に現象に隠れている大事なモノを見失うことがあります。仮説に思い至るまでのプロセスを考えることも大切であるように思います。本学会で過去に報告したテーマ「実学について」と「経営者の哲学」などを基に、その先を考えてみたいと思っています。

※参加のお申し込み・お問い合わせ先は、

- ①「ご氏名」
- ②「ご所属」
- ③「ご連絡先」

を記載の上、

関 西 部 会 長・田中 雅子 (帝塚山大学) mtanaka★tezukayama-u.ac.jp

関西部会副会長・野林 晴彦 (北陸学院大学短期大学部) nobayashi★hokurikugakuin.ac.jp

関西部会幹事・西釜 義勝 (大阪成蹊大学) nishigama★osaka-seikei.ac.jp

にメールにてご連絡下さい。

※参加のお申し込みをいただいた方に、アクセス方法をお伝えいたします。

(★を@に変換の上、メールをお送り下さい。)

## ◇◇経営実践コンサルティング部会開催のお知らせ◇◇

経営実践コンサルティング部会長 柴田 仁夫（岐阜大学）

以下の要領で、経営実践コンサルティング部会を開催します。今回は SDGs を中心にコンサルティングを行っている田中信康氏、日景聡氏をお招きしてお話させていただきます。

- ・ テーマ：「SDGs コンサルティングの現状」
- ・ 開催方法：ZOOM によるオンライン開催
- ・ 開催日時：12月4日(土) 13:00-15:00

### 【講演者】

田中 信康 氏（サンメッセ総合研究所代表）

略歴：大手証券会社にて株式、リサーチ、人事、財務・IR、広報、M&A アドバイザー、コミュニケーション支援など幅広い業務の責任者として従事。数多くの経営層との対談を機に ESG/SDGs コンサルティング業務に携わり、サステナブル・ブランドジャパンの ESG プロデューサーに就任。地方自治体との地方創生・地域連携プロデュースも担う。

日景 聡 氏（中小企業診断士／中小企業 SDGs 経営コンサルタント）

略歴：取材経験のあるマスコミ出身の中小企業診断士として、SDGs に取り組む各地の先進的な中小事業者を視察し、事例を収集。SDGs 経営計画の策定支援、SDGs 新規事業創出支援など、各地で中小企業の SDGs 浸透に尽力しています。

### 【開催趣旨】

2020年代に入り、SDGs も多くの方に認知され、企業もその規模に関わらず SDGs に取り組みはじめています。しかし、それとともに以前当部会でも懸念していた「SDGs ウォッシュ」が見られるようになってきました。また SDGs が採択される原点となる「環境問題」「人権問題」、特に国内ではこの人権問題が軽視されているように見受けられます。

今回の本部会では、SDGs のコンサルティングを行っているコンサルタントの視点から、現在の国内の企業 SDGs の捉え方、コンサルティングの際に注意している点などについてご講演いただきます。

※状況により変更が生じる場合があります。

※会員のみ無料で参加できます。

※参加を希望される方は、アクセス方法をお伝えしますので、柴田宛にメール（shibajin@gifu-u.ac.jp）にて11月30日までにご連絡ください。

## ◇◇経営理念研究部会報告◇◇

経営理念研究部会長 村山 元理（駒澤大学）

「「メタ理念」研究から見えてくるもの—命知元年（昭和7年）以降の松下電器を事例として—」講師住原則也氏（天理大学国際学部教授）を聞いて

オンラインで10名が参加（2021（令和3）年9月18日（土）開催）。非公開のYouTube録画もありますので、会員は小野瀬先生に視聴希望をお伝えください。

経営人類学者の住原氏により天理訪問が松下幸之助の経営理念や経営手法に与えた影響を推論した内容を近著『命知と天理』（道友社）に基づいてご講演。幸之助は、奈良県丹波市町（現在の天理市）の某教団を訪問して間もなく、従業員を招集して有名な命知元年の講演を行い、社員に多大な感動を与えたことはよく知られている。大正7年の創業であり、昭和4年には綱領・信条も定めていた。しかし、産業人の真使命として「貧乏の克服」を同社の経営目的（使命）として改めて再構築したのであった。経営理念の再構築の意味は、従来十分に検討されてこなかったし、同社のその後の経営改革に某宗教教団からの影響があったこともほとんど知られていなかった。

住原氏によれば、使命達成のため7つの手法で影響関係が推論されていた。

松下電器	天理教団
使命：「貧乏の克服」	使命：「陽気ぐらし」
朝会・夕会での「7精神唱和」「社歌」	朝勤め・夕勤め
事業部制・分社制	1万の教会の独立採算制
社内学校：店員養成所、工員養成所	各種学校：天理教校、外国語学校など
通信・伝達：月刊「歩一会会報」、隔週？「松下電器所内新聞」	通信・伝達：月刊「道の友」、週刊「天理時報」
松下電器墓所の設立	教祖墓地＋信徒墓地
松下（記念）病院、昭和15年～	天理よろず相談所病院、昭和12年～
目標体制のため年限を定めること	10年ごとの教祖「年祭」を目標

近著によれば、渡部昇一は幸之助が天理教をライバル視していたとされる。10時間も天理市（当時の丹波市町）に滞在し、U氏の案内中、敬虔な祈りにふれ、喜々として勤労奉仕する信徒の姿から幸之助が大きな影響を受けたことは間違いない。300万人の巨大教団を松下電器がベンチマークしたというレアケースの仮説やメタ理念の概念は今後の検討課題となる。

## ◇◇機関誌委員会より予備審査導入のお知らせ◇◇

機関誌委員会委員長 董 晶輝（東洋大学）

日頃は、機関誌委員会の運営にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

理事会の改選に伴い、機関誌委員会も新たに発足しました。機関誌編集の効率化、投稿者の皆様へのフィードバックの迅速化を図るために、投稿論文に対して予備審査を行うことについて機関誌編集委員会での議論を経て、第25巻1号の編集から適用することとなりました。予備審査の目的は明らかに採択の可能性のない原稿が査読過程で時間を費やし、論文を再考する時間を失うことを防ぐためにあります。予備審査では一つの投稿論文に対して、複数名の機関誌委員が審査し、その結果を受け機関誌委員会で全員の協議により判定を行います。学术论文にふさわしくないと判定されたものは速やかに投稿者に通知し、その他の原稿は従来通りの査読プロセスに進みます。匿名レフェリーによる厳正な査読審査を経て投稿論文を採択し掲載することには変わりありません。

機関誌の編集は会員の皆様の研究成果を文献として積み上げ、公表することになります。文献というものは新しい知見を示し、その後の研究に参考となる学术论文です。したがって、査読者の役割は投稿論文の文献価値を精査することであり、「論文指導」を行うものではありません。特に、機関誌への論文投稿を考えている院生の皆様におかれましては、論文を作成する際には十分に指導教員の指導を仰ぎ、投稿する際には許可を得ることをお勧めします。

最近、不採択となった投稿論文がすぐに再投稿されるケースが散見されています。不採択の原稿は学术论文としてふさわしくないと判断されたものであり、微修正しても生まれ変わることはありません。採択可能な原稿に対しては、査読者はできる限りの改善のコメントをしますが、不採択と判断したものに対しては理由付けをしなければなりません。端的に言えば、重大な欠陥を一つ指摘するだけでも、査読者の判断は支持されます。ですので、不採択となった原稿を査読者のコメントを参考に修正しても採択となる可能性はほとんどありません。不受理・不採択となった原稿については、一から再考することをお勧めします。

常識的なことを繰り返しただけで、ご容赦ください。

機関誌第25巻第2号への論文投稿要領は、以下のお知らせをご覧ください。時間の余裕を持って原稿を作成するようお願い申し上げます。皆様のご投稿をお待ちしております。

## ◇◇機関誌委員会からのお知らせ◇◇

機関誌委員会委員長 董 晶輝（東洋大学）

機関誌第25巻第2号への投稿論文の締め切りは、投稿規定に則り、2022（令和4年）1月31日（月）となっております。投稿の際には、学会ホームページを参照していただき、掲載されている投稿論文規程を遵守し、執筆要領、組見本にしたがって原稿の執筆をするようお願い致します。なお、各地域部会・研究部会や全国大会において報告された会員の方には、特に積極的に投稿されることを期待しております。

## 【応募先・問い合わせ先】

日本マネジメント学会事務局（担当：武市顕義）

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36 S&amp;Sビルディング 3F

株式会社山城経営研究所内

TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233

E-Mail: name@kae-yamashiro.co.jp

## ◇◇会員の最新刊著書を紹介します◇◇

寺澤朝子著『ホテル・ホスピタリティの探求』

（株）五絃舎 1,000円＋税

著者がホテル業界の仕事に携わっている関係で、ホスピタリティの概念を組織行動論から考察した。ホスピタリティとサービスに関する独自の発展段階モデルを提示、事例研究を行うことで、ホスピタリティ・マネジメントの新たな視点を提供している。

※会員の皆様の最新刊著書を紹介しますので、事務局へ献本（1冊）をお願い致します。

**学会事務局より****会費お支払いのお願いについて**

2021(令和3)年度会費(支払期限は6月30日)を未納の方は、また2020(令和2)年度会費も未納の方は2021(令和3)年度会費と合わせて、次の方法で至急お支払いをお願い致します。会費は当学会の唯一の財源ですので、会員の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

- ①ゆうちょ銀行への振込の場合(既にご送付の請求書に添付の払込取扱票を利用すれば、振込手数料のご負担はありません。)

口座番号：00150-7-535064

- ②みずほ銀行への振込の場合

飯田橋支店 普通預金口座 1388418

- ③他の金融機関からゆうちょ銀行への振込の場合

〇一九(ゼロイチキュウ)店 当座 0535064

**会員名簿の維持管理と異動情報のご連絡のお願いについて**

ご連絡先(ご自宅・勤務先)やメールアドレス等の変更のご通知がないために、会報や機関誌が返却されてきたり、メールマガジンの送付がエラーになるなどのケースが沢山生じております。つきましては、皆様の会員名簿を常に維持管理し、タイムリーに刊行物や情報をご提供するために、異動情報があれば速やかに事務局までご連絡をしていただきたく、ご協力をお願い申し上げます。

**メールマガジン・学会ウェブサイトをご利用ください**

大会、部会の開催や募集、その他ニュースなどタイムリーにお届けするにはメールマガジンが最適です。ぜひメールアドレスの登録をお願いします。

また学会ウェブサイト(<http://nippon-management.jp/>)では、学会の最新の情報をアップしております。ブックマークへのご登録をお願いします。

**編集後記**

新期会報委員会による初めての会報をお届けいたします。本号より、会員新刊著書の紹介コーナーで、ご著者自身による紹介文を掲載しています。会員の皆様のご研究、ご研鑽にお役立てください。秋らしい日も増えてきました。皆様すばらしい秋をお過ごしください。

(会報委員会 細萱伸子(委員長)、本号担当：田中克昌(副委員長)・平井直樹・東史恵)

発行 **日本マネジメント学会**  
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36  
S&Sビルディング3F  
株式会社山城経営研究所内  
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233  
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp  
URL: <http://www.nippon-management.jp/>  
印刷 株式会社ドットケイズ TEL 03-5206-1626  
E-mail: win@good-ks.co.jp